

## 須高ケーブルテレビから FTTH 化施設工事を一括で受注

当社は、須高ケーブルテレビ株式会社（本社：長野県須坂市、代表取締役社長：丸山康照、以下、須高ケーブルテレビ）より、光伝送システムならびに施設工事を一括で受注しました。

近年、4K・8K 実用放送（以下、高度 BS 放送）や、データ放送の実現など、放送サービスの高度化が推進されています。このような動きの中、須高ケーブルテレビでは 2018 年 12 月に開始予定の高度 BS 放送対応に向けたネットワークインフラとして、光ファイバを利用した FTTH<sup>\*1</sup>へ施設更改することを決定されました。これは、1989 年の開局以来利用してきた光同軸伝送路（HFC）からの変更になります。

当社は、FTTH 化の構想検討段階から技術支援を行い、光伝送機器を有効に配置するための伝送路の設計および施工まで含め、ご提供します。今後さらに推進される高度放送サービスに対応できる設計にしています。

高度 BS 放送の伝送方式は、①770MHz 以下の光同軸伝送路で提供できるトランスモジュレーション方式、②1GHz 以上の衛星からの信号をそのまま伝送するパススルー方式、があり、当社はいずれも対応可能です。

また、従来 BS 放送では右旋を使用していましたが、2018 年末からは左旋も使用できるようになります。今回使用する放送信号を伝送する光送信機は右旋・左旋どちらにも対応可能な 2.68GHz に対応しています。これにより全家庭に超高速 IP 信号と、広帯域 RF（高周波）信号を同時に提供できます。

さらに、当社の 10G-EPON は大型・小型のシャーシを用意しており、サービスを利用する顧客数に応じて製品を設置することができます。今回、須坂・小布施地域をカバーする本社センターには、大型シャーシの FSU7101 を、高山村サブセンターには小型シャーシの FSU7102 を設置します。これにより、設置スペース及び電源容量の効率化を図ります。

本事業によりインターネットサービスの最高速度を現状の 160Mbps から一気に 10Gbps に引き上げることが可能となり、超高速のインターネットサービスをはじめ、移行が検討されている放送のオール IP 化や 4K、8K 放送の完全な対応が可能です。

長野県はケーブルテレビ先進県として数多くの事業者が存在しますが、当社が最先端の 10G-EPON 装置を納入するのは、須高ケーブルテレビが初めてです。

また、本事業エリアの一部、高山村においては、総務省より「ケーブルテレビネットワーク光化促進事業」に選定され、光化支援の補助金交付を受けることも決定しました。これは、全国で10団体、長野県では2団体のみが選定された中の1つです。

2017年10月より着工開始、2018年4月から順次、須高ケーブルテレビでのサービス提供が開始される予定です。当社は、高度BS放送に関わる製品ラインナップの充実を進めることで、今後もケーブルテレビの発展に積極的に取り組んでいきます。

【須高ケーブルテレビ 丸山康熙代表取締役社長からのコメント】

地域BWA<sup>\*2</sup>やWi-Fiなど無線網との連携や、オールIP化を視野にいたれた放送網の充実さらに4K・8K放送へのフル実装などといった放送通信基盤の整備は喫緊の課題となっています。今回の全面光化が地方創生の大きな起爆剤として地域活性化に寄与し、当社が真にお客様に喜んでもらえる企業として存在できるよう住友電工のソリューションに最大限の期待をしています。



10G-EPON センター装置「FSU7101」



「FSU7102」

\*1 FTTH : Fiber To The Home

\*2 地域BWA (Broadband Wireless Access) : 地域の公共サービスの向上やデジタル・ディバイドの解消など、地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的に、2.5GHz帯の周波数の電波を使用した電気通信業務用の無線システム。

以上

(お問い合わせ先)

広報部 広報グループ TEL 03-6406-2701 (東京)・06-6220-4119 (大阪)